

薬学部（学士（薬学））の卒業の認定に関する方針

日本大学薬学部は、日本大学教育憲章に基づき、日本大学の目的及び使命を理解し、薬学部の教育研究上の目的のもとに設定した以下の能力を身に付け、所定の年限在学し、所定の授業科目及び単位を修得した学生の卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与する。

- 1 豊かな知識・教養に基づいた高い倫理観を有し、医療人として社会に貢献できる。（DP 1）
- 2 日本を含む世界の情勢や直面している問題を理解し、その多様性及び自身の考えを説明することができる。（DP 2）
- 3 豊かな知識と教養を基に、薬剤師として論理的な思考、批判的な思考をすることができる。（DP 3）
- 4 事象を注意深く観察して問題を発見し、薬学に関する豊かな専門知識を基に解決策を提案することができる。（DP 4）
- 5 探究心を持ち、あきらめない気持ちで医療の発展のために新しいことに対し、果敢に挑戦することができる。（DP 5）
- 6 他者の意見を聴き、自分の考えを伝え、互いの価値観を理解・尊重することができる。（DP 6）
- 7 集団において、リーダーシップを発揮し、他者と協働してその力を引き出し、活躍を支援することができる。（DP 7）
- 8 謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。（DP 8）

薬学部（学士（薬学））の教育課程の編成及び実施に関する方針

日本大学薬学部では、日本大学教育憲章を基にした卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿って教育課程を編成し実施する。

卒業の認定に関する方針として示された8つの能力を養成するために、総合教育科目、薬学教育科目、特色教育科目等の授業科目を各能力に即して体系化するとともに、講義・演習・実験・実習等の授業形態を組み入れた多様な学修方法による教育課程を編成し実施する。

また、学修成果は、専門的な知識・技能及び態度を修得する授業科目に関しては授業形態や授業手法に即した多面的な評価方法及び評価基準を各授業科目のシラバスに明示し、学修到達目標の達成度を評価する。日本大学マインド及び自主創造の8つの能力に関しては、卒業の達成を図るための授業科目の修得状況や到達度と学生自身による振り返り等をもとに段階的かつ総合的に評価する。

- 1 早期臨床実習及び実務実習での学修を基盤とし、6年間を通して医療人としての高い知識・教養に基づいた倫理観及びその力を倫理的な課題に適切に適用する能力を育成する。（CP 1）
- 2 総合教育科目及び外国語科目の学修を基盤とし、世界情勢を理解する能力や自身の考え方を説明する能力を育成する。（CP 2）
- 3 総合教育科目及び薬学教育科目の学修を基盤とし、薬学教育モデル・コアカリキュラムに準じて得られた知識を基に、論理的・批判的な思考により、課題に対し、見解を示す能力を育成する。（CP 3）
- 4 実験・実習科目及び卒業研究の学修を基盤とし、問題を発見して解決策を提案し、他者と協働して問題を解決する能力を育成する。（CP 4）
- 5 薬学教育科目の学修を基盤とし、特色教育科目で先端の理論・技能にふれ、探究心及び挑戦力を育成する。（CP 5）
- 6 日本大学全学共通教育科目及び薬学教育科目の学修を基盤としてコミュニケーション力及び他者を理解し信頼関係を確立する能力を育成する。（CP 6）
- 7 実務実習及び卒業研究を基盤とし、他者と協働する能力及び指導者として協働者の力を引き出し、その活躍を支援する能力を育成する。（CP 7）
- 8 実務実習及び卒業研究を基盤とし、自己の学びを振り返り、今後の学修に活かす能力を育成する。（CP 8）

薬学部履修系統図

関連DP: 特に結びつきが強いDP
必修科目: ゴシック、選択科目: 明朝で表記

薬学部ディプロマ・ポリシー (DP)

- 日本大学薬学部は、日本大学教育憲章に基づき、日本大学の目的及び使命を理解し、薬学部の教育研究上の目的のもとに設定した以下の能力を身に付け、所定の年限在学中、所定の授業科目及び単位を修得した学生の卒業を認定し、学士(薬学)の学位を授与する。
- DP1: 豊かな知識・教養に基づいた高い倫理観を有し、医療人として社会に貢献できる。
 - DP2: 日本を含む世界の情勢や直面している問題を理解し、その多様性及び自身の考えを説明することができる。
 - DP3: 豊かな知識と教養を基に、薬剤師として論理的な思考、批判的な思考をすることができる。
 - DP4: 事象を注意深く観察して問題を発見し、薬学に関する豊かな専門知識を基に解決策を提案することができる。
 - DP5: 探究心を持ち、あきらめない気持ちで医療の発展のために新しいことに対し、果敢に挑戦することができる。
 - DP6: 他者の意見を聴き、自分の考えを伝え、互いの価値観を理解・尊重することができる。
 - DP7: 集団において、リーダーシップを発揮し、他者と協働してその力を引き出し、活躍を支援することができる。
 - DP8: 謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

